夫婦そろって五十年目を迎えました
～伯耆町金婚祝賀式～

十月十七日（月）午前十一時から大山ロイヤルホテルで金婚祝賀式が開催され、七組のご夫婦が出席されました。

金婚式は、町長のあいさつから始まり、西郷議長による祝辞、記念品贈呈、代表者謝辞に続いて、写真撮影、祝宴が行われました。

町長は、「これからも夫婦ともに支えあい、ダイヤモンドの日をまたお二人そろって元気に迎えてください。」と祝辞を述べられました。

記念品贈呈は、町長から七組のご夫婦一人ひとりに手渡されました。いつまでもご夫婦仲良く寄り添い今後の人生を歩んでいただけるよう願いを込めて、「大山焼の夫婦茶碗」が贈られました。

代表者謝辞では、大下一男さん、頼子さんご夫妻が「夫婦支えあい、無事五十年を迎えることができてうれしく思います。また、本日の式典を開催いただき感謝いたします。」と謝辞を述べられました。

祝宴の際には、皆が五十年を振り返り、様々な出来事があったことを懐かしく思い出され、お互いに会話が弾みました。これからも末永くご夫婦ともに健康でお幸せに！

おめでとうございます。

記念品が贈呈されました

伯耆町から国際彫刻シンポジウム参加
～町内彫刻家　入江達也氏～

町内に彫刻のアトリエを構えておられる彫刻家の入江達也氏は、八月三日から約一ヶ月間、マレーシアのボルネオで開催された「国際彫刻シンポジウム」に参加されました。九月一日から七週間開催される「(II) International Delphic Games 2005」（第二回目の国際デリフィック・ゲーム二〇〇五）で野外展示される彫刻アーティストを呼び国際シンポジウムを開いてみたいと夢を描いておられます。伯耆町の明るい未来を描き、前向きに尽力されている方の一人です。

このたびの出品作品は、左の写真にある、大きな石の作品です。タイトルは「A Conection San tu bong Sky-Snake」（希望の山）です。

入江達也氏の彫刻作品制作風景

ありがとうございました
～ごうぎん鳥取文化振興財団助成金～

財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団（理事長　丸　磐根さん）から、このたび九月二十九日（木）に、県内の教育・芸術文化・スポーツ活動への支援活動の一環として、溝口図書館に図書券十万円分を贈呈いただきました。贈呈は、町長室で、山陰合同銀行常務取締役米子営業本部長の宇野松人氏から「伯耆町の子どもたちが健やかに育つことを願っています。」という言葉とともに、町長に手渡されました。町長は「子どもたちが文字に触れることのできる環境を整えたいと思います。」と受け取られました。

ありがとうございました。

溝口図書館に贈呈